

【担当教員名】 川中健太郎	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】
前期の解剖生理学Ⅰに引き続いて、身体の構造と機能について、基本的な知識を学習する。解剖生理学Ⅱでは、特に、栄養生理的な面を強調して、身体の構造と働きについて学習する。

- 【学習目標】
- 1) 栄養素が消化・吸収されてエネルギー源として利用されるしくみを理解して説明できるようになる。
 - 2) 代謝された栄養素の排泄の仕組みを理解して説明できるようになる
 - 3) 健康な身体に備わっている病気を防ぐための仕組みを理解して説明できるようになる。
 - 4) 生活習慣病の成り立ちを生理学的に説明できるようになる。
 - 5) 身体が恒常性を保つ仕組みを理解して説明できるようになる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	消化と吸収		講義 一部、ビデオを活用
2	口腔内および胃における栄養素の消化		
3	小腸における栄養素の消化		
4	小腸における栄養素の吸収		
5	排泄機能		
6	循環系		
7	心臓の構造		
8	心拍動のしくみ、心拍数の調節		
9	血管の構造と働き		
10	血圧調節		
11	免疫		
12	抗体産生のしくみ		
13	体温調節		
14	熱の放散、体温調節のしくみ		
1	泌尿器系		
2	腎臓の構造		
3	体水分量・塩分量の調節		
4	生殖		
5	性周期とホルモン		
6	ホルモン		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	新しい解剖生理学	山本敏行ら	南江堂	
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 期末試験と出席状況	【履修上の留意点】 単なる知識の理解にとどまらず、将来的に自分が希望する職業において、生理学的知識がどのように応用できるかについて想像しながら学習して欲しい。
---------------------	--